

山 な み

市長の地域懇談会を終えて
センター長 庭山清一

市長が住民の声を聞き、柏崎市政に反映させることを目的とした「地域懇談会」が七月四日、北条地区を皮切りにスタートした。

地区からは、町内会長とコミュニティ関係者三十五名が参加。

…五つのテーマで懇談：
小学校統合問題について
センター周辺の避難道路について
災害箇所の早期復旧
農村公園について
少子・過疎化対策

小学校の統合については「校舎の老朽化が進んでいるので統合と改築を一緒にやりたい」という市の基本的な考えが提示された。また、センター周辺の道路が狭く、災害時の緊急車両等の進入が困難なことから、

早急なる道路整備を要望した。これに対し、市は地権者の同意もあることから、「前向きに検討したい」と回答された。ほか、災害復旧工事の今後の見通しなど活発な意見が集中した。



コミュニティ事務局
お盆休みのお知らせ
8 / 15 (月)・16 (火)

北条地区
コミュニティ協議会
振興協議会
TEL25-3355



さとう ゆうな

地域で守る大杉

中村の大杉は千余年前、藤原鎌足公の子孫が植えたといわれ、俗に乳杉といつまた国の大難に際しては苦行をなすとも伝えられる。昔、食料が少なく、母親も食べ物がなかったため、乳が出なかつたときに大杉が乳を出して赤ちゃんを助けたという言われがあり、大きな枝を四方八方に伸ばし天下を眺め、災難が降りかからないように身を呈して防いだともいわれる。

大杉が元気な頃、夜静かになるとゴーという音がし、何の音かと耳を澄ますと、大杉が地下から水を吸い上げる音だったという。15 年前に 2 年間大杉の

周りと神社境内を掘り起こし肥料と栄養剤を、昨年・一昨年は県、市、地区の皆さんから補助や寄付をいただき、再度、大杉の活性化をはかった。

わいわいスクール 楽しく活動中

文部科学省の平成 16 年度新規事業「子どもの居場所づくり新プラン」を市で実施することとなり、比角、野田、北条の 3 地区で「放課後クラブ」を開始、平成 17 年度も引き続き実施しています。この事業は地域の方々の協力をいただきながら、子どもたちの「居場所」を創造しようというものです。北条地区では「わいわいスクール」と名づけ、土曜日を主に活動しております。北条南・北小学校とコミュニティセンターを居場所として、スポーツや文化活動・あそびなどを楽しんでいます。

参加した子ども達からは「いろんなことができて楽しい」という声が聞こえて



シャボン玉の中に入りました



七夕飾りを作りました

きています。地区内の方で、子どもたちと一緒に活動してみたいと思われる方は「ボランティア」として、「わいわいスクール」に参加してみませんか。ご協力をいただければありがたいと思います。

北条地区グラウンドゴルフ大会(ご案内)

とき 8 月 21 日(日)
開会式 8 : 0 0
会場 北条地区民グラウンド
(北条サービスセンター隣り)
対象 小学生以上の北条地区民
その他 申込みは不要 当日会場に集合
不明な点は体協事務局 佐藤敏まで
電話 090-2414-6279